

平成 25 年度 新宿駅周辺防災対策協議会 東口地域地震防災訓練概要報告

I. 図上演習訓練について

1. 目的

より現実に近い形での帰宅困難者の避難誘導等に関する図上演習訓練を実施することにより、刻々と変化する状況を確認するとともに、対応策や課題を整理する。

2. 日時

平成 25 年 10 月 31 日（木） 13 時 15 分～15 時

※平成 25 年 11 月 7 日（木）の実動訓練事前説明会と併せて実施。

※他に、東口現地本部の立ち上げ手順及び現地本部資機材保管場所の確認も実施。

3. 場所

新宿区役所第一分庁舎 7 階研修室（新宿区歌舞伎町 1-5-1）

4. 参加者

約 30 名（商店街、百貨店、鉄道、医療機関等より）

5. 訓練想定

日時：パターン1 平成 25 年 10 月 31 日（木）19 時発災（平日夜間）

パターン2 平成 25 年 11 月 3 日（日）15 時発災（休日昼間）

震度：都内で震度 6 強以上の地震が発生

規模：M7.3

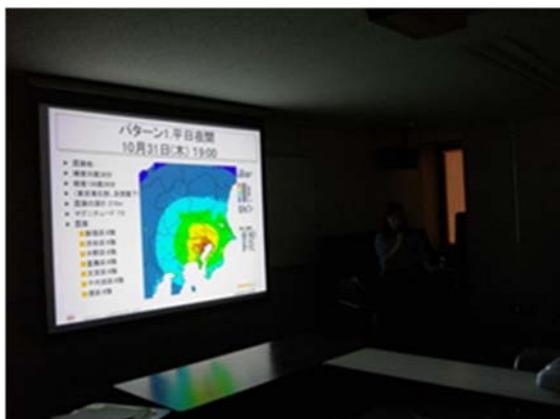
震源地：東京湾北部

※平成 24 年 4 月「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」より

6. 訓練内容

- ・訓練想定に基づき、平日夜間、休日昼間の 2 つのパターンについて、訓練を実施した。
- ・訓練の実施にあたり、東口現地本部の情報報告ボード、情報共有ボード、地図ボード等の各種ボードも使用した。
- ・ファシリテータより、帰宅困難者及び滞留者の人数、傷病者の人数と程度、火災の状況、建物被害の状況、避難場所の状況、帰宅困難者一時滞在施設の状況等を時系列的に付与し、参加者は、対応する項目、具体的な対応策、問題等を付箋に洗い出し、課題の整理を行うとともに、発災時に起こりうる状況について、認識の共有を行った。

【図上演習訓練の様子】



《ファシリテータからの状況付与》





《付箋を用いた対応策・課題等の整理》



《各種ボードを用いた情報収集伝達》

Ⅱ. 実働訓練について

1. 目的

昨年実施した訓練をベースに、より発展させた訓練を実施して、現地本部の機能を強化するとともに、アクションカードを用いての災害医療への協力を実施する等、新たな取り組みに挑戦し、東口地域の防災力の向上を目指す。

2. 日時

平成 25 年 11 月 7 日（木） 13 時～13 時 30 分：東口現地本部情報共有訓練
13 時 40 分～15 時 30 分：負傷者対応訓練

3. 場所

東京都健康プラザハイジア 1 階（新宿区歌舞伎町 2-44-1）

4. 参加者

約 100 名（商店街、百貨店、鉄道、医療機関、日本赤十字社等より）

5. 訓練想定

日時：平成 25 年 11 月 7 日（木） 13 時発災

震度：都内で震度 6 強以上の地震が発生

規模：M7.3

震源地：東京湾北部

※平成 24 年 4 月「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」より

6. 訓練内容

〈東口現地本部情報共有訓練〉

- ・東口地域部会メンバーの誰であっても現地本部を運営できるように、現地本部に人がいる場合と、いない場合を想定して、各種ボード等を使用した情報収集伝達訓練を実施した。
- ・東口駅前のアルタビジョンを活用して、帰宅困難者に向けた情報の放映訓練を実施した。
- ・防災行政無線による西口現地本部との通信訓練を実施した。

〈負傷者対応訓練〉

- ・負傷者発生現場、応急救護所にある医師会のトリアージポスト、災害拠点病院である大久保病院、そ

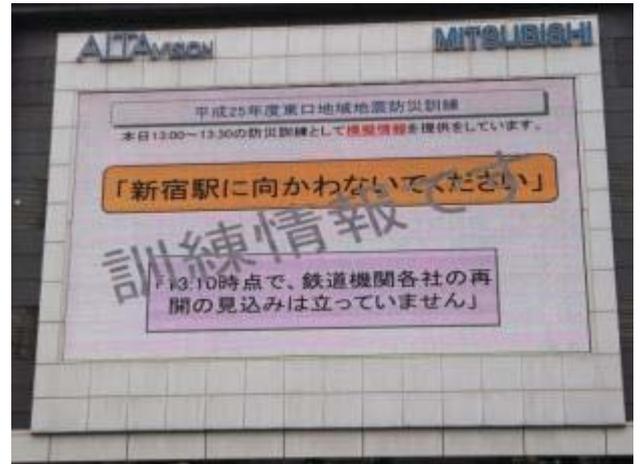
それぞれの場面において、アクションカードを用いたの災害医療への協力訓練を実施した。

- 傷病者の選別、搬送、軽症者に対する応急処置、心肺蘇生等の訓練を実施した。

【実働訓練の様子】



《情報収集伝達訓練》



《アルタビジョンによる放映訓練》



《傷病者の選別》



《ブルーシートを利用した搬送》



《医師会によるトリアージ》



《大久保病院での「赤」重傷者に対する医療処置》

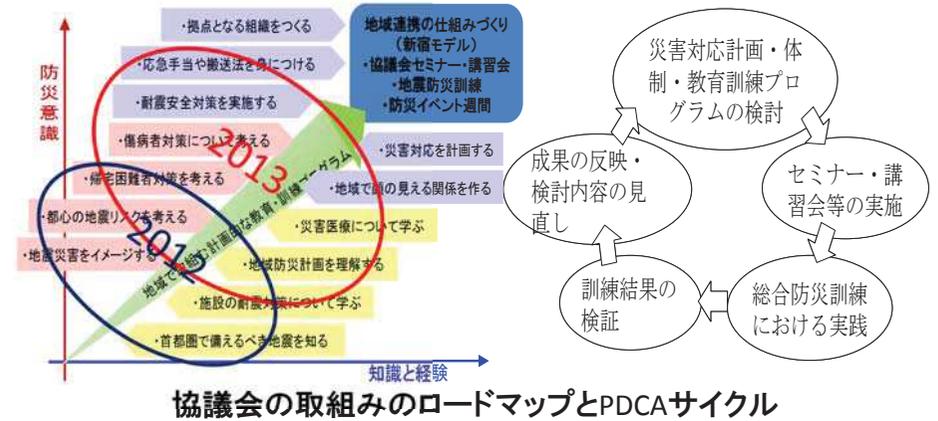
平成25年度 新宿駅周辺地域防災対策協議会 西口地域部会の活動について

平成26年度新宿駅周辺防災対策協議会 総会
2014年5月21日(水) 新宿文化センター小ホール

西口地域部会長
久田嘉章(工学院大)

新宿駅周辺防災対策協議会におけるセミナー・講習会・訓練

- ・ 新宿駅周辺エリアにおける「新宿モデル」の構築に向けた取組み
- ・ 対象者: 防災担当者・施設管理者、及び、エリア内の市民
- ・ 2013年度は震災時における超高層ビルの自助(傷病者・建物使用継続・命令指揮)、および、西口エリアにおける共助(情報伝達等)



協議会の取組みのロードマップとPDCAサイクル

2013年度のセミナー・講習会・訓練スケジュール

2013	5/22 (水) 新宿駅周辺防災対策協議会・総会 東口・西口部会・今年の計画、講演会(林先生)等
	6/26 (水) 第1回セミナー「災害対応を効果的に実践するための戦術・トレーニング」(在日米陸軍消防本部次長・熊丸氏)
	7/24 (水) 第2回セミナー「消防法の改正と自衛消防隊の組織づくり」(新宿消防署長・村松氏など)
	9/4 (水) 第3回セミナー 図上演習「地震後の建物被害確認・即時使用性判定」
	9/19 (木) 災害医療講習会 ※医療従事者対象(区医師会と共催)
	9/27 (金) 訓練概要説明会
	10/9 (水) 応急救護講習会(日赤都支部、新宿消防署の協力)
	10/30 (水) 訓練参加者説明会
	11/6 (水)～10(日) 新宿防災ウィーク
	11/7 (木) 総合防災訓練
2014	1/16 (水) 第4回セミナー 訓練検証会
	2/26 (水) 第5回セミナー 2013年度総括・2014年度計画

2013年度セミナー・講習会



第1回セミナー: 災害対応を効果的に実践するための戦術・トレーニング(2013/6/16)



第3回セミナー: 地震後の建物被害確認と即時使用性判定(2013/9/4)



災害医療講習会(新宿医師会を対象としたトリアージ研修、2013/9/19)

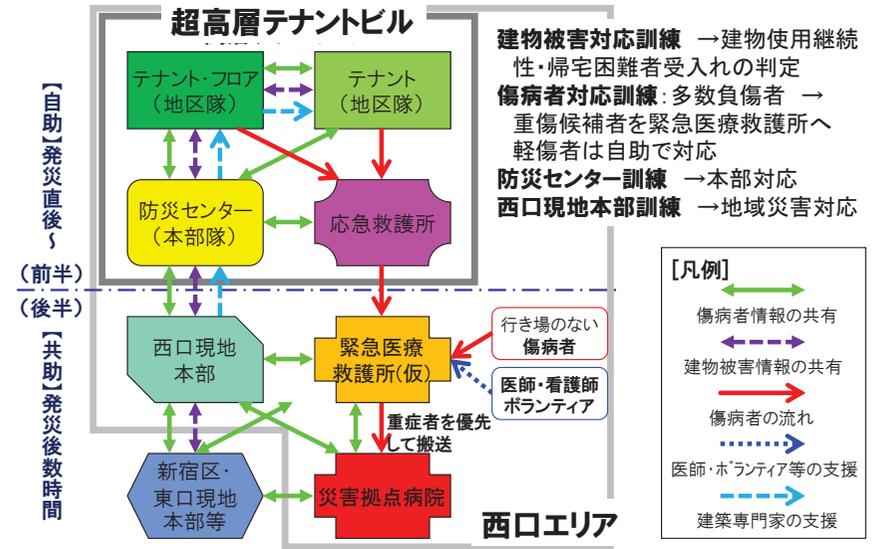


応急救護講習会(一般市民を対象とした座学と実践研修、2013/10/9)

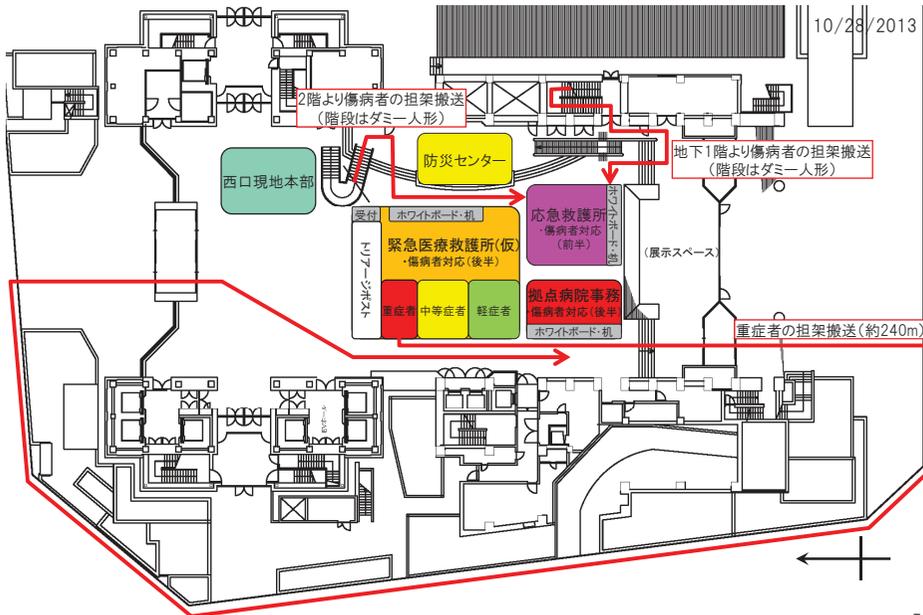
新宿駅西口エリアにおける訓練実施概要

訓練名称	新宿駅西口地域地震防災訓練
日時	2013年11月7日（木）13:00～17:30
主会場	工学院大学新宿キャンパス
参加者数	91名（事業所80名，医師会11名）
訓練項目	傷病者対応訓練，建物被害対応訓練，防災センター訓練，西口現地本部訓練
主催	新宿駅周辺防災対策協議会
主な参加協力団体	新宿駅周辺防災対策協議会参加団体及び関係事業所，新宿区医師会，東京医科大学病院，東京女子医科大学病院，慶應義塾大学病院，国立国際医療研究センター病院，日本赤十字社東京支部，新宿消防署，新宿警察署，工学院大学，東京建築士会，新宿副都心エリア環境改善委員会，鱒沢工学研究所

新宿駅西口エリアにおける訓練のイメージ図



訓練会場（1階）のレイアウト（+2階・B1階）



傷病者対応訓練の様子



①地区隊による応急手当と観察



②ビル内応急救護所での情報集約



③緊急医療救護所（仮）での救護活動



④ボランティアによる重傷者の搬送

建物被害対応訓練の様子



①地区隊による被害情報収集



②本部(防災センター)での集約



③本部隊と専門家による被害確認



④本部での即時使用性の検討

防災センター訓練の様子



①本部(防災センター)の様子



②ビル内の被害情報収集



③緊急医療救護所(仮)での追跡確認

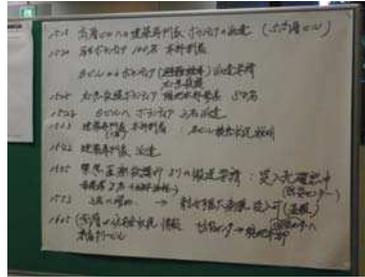


④西口現地本部への被害状況報告

西口現地本部訓練の様子



①西口現地本部の様子



②派遣・支援要請等の整理



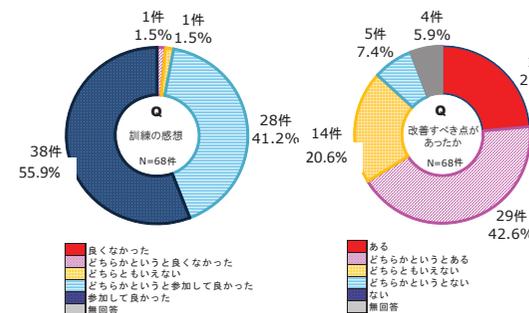
③ボランティアへの情報提供



④建築専門家への情報提供

訓練参加者アンケート

訓練種別	参加者数	回収数	回収率
傷病者対応訓練	61	43	70%
建物被害対応訓練	12	9	75%
防災センター訓練	11	9	82%
西口現地本部訓練	7	7	100%
合計	91	68	75%



- ・参加者のほぼ全員が参加して良かったと回答。
- ・但し、様々な課題・問題点を指摘:
- ・テナントへの周知が困難
- ・訓練の必要性は再確認できたが実施までには至らない
- ・訓練設定におけるテナント数(今回は2つ)が少ない
- ・発生時どの様に地域に協力できるかどうか疑問
- ・区の役割と現地本部の役割がわかりづらい
- ・単なる情報のパイプ役なのか、それとも何らかの判断をし、処置する役割まであるのか不明瞭、など